

紹介方法・検査予約方法のご案内

緊急のご依頼について

緊急のご依頼は地域医療連携室へお電話ください。

患者様の受入れがスムーズに進むよう私ども連携室スタッフが対応させていただきます。

当院での受入れが困難な場合は、状況により連携室スタッフが近隣医療機関へコンサルトさせていただきます。



TEL.03-3967-4275(直通)



FAX.03-5914-3222

通常外来紹介方法

初診時から予約制の診療科と当日受付順の診療科がございます。

各診療科の診療時間、担当医につきましては、外来担当医表をご覧ください。

TEL.03-3967-1181(代表) 内線：3152

放射線検査予約方法

TEL.03-3967-1197(放射線検査予約直通) までご連絡ください。

- 撮影方法、撮影部位についてお聞きします。内容は下記の通りです。

1	医療機関名	2	依頼医師名	3	撮影方法【CT、MRI、RI、骨密度測定(DEXA法)、マンモグラフィー検査】
4	撮影部位	5	造影剤の有無	6	読影レポートの有無
7	撮影予約希望日(状況により当日撮影も可能です)	8	患者さま氏名、生年月日		

- 読影レポートを希望される場合は、基本的に5～7日で郵送致します。当日に検査結果【フィルムまたはCD-R、読影レポート】を患者さまにお渡しすることも可能ですので、ご予約の際、ご相談ください。

生理学検査予約方法

TEL.03-3967-8786 (生理学検査予約直通) までご連絡ください。

- 当院で実施可能な検査は下記の通りです。

1	超音波検査【心臓、腹部、頸動脈、甲状腺、下肢動脈】	2	心電図
3	脳波検査	4	トレッドミル負荷心電図
6	血圧ホルター心電図	7	SCV(知覚神経伝導速度)
9	マスター負荷心電図	10	ABI(血圧脈波検査)
12	聴力検査	13	サーモグラフィー
		14	MCV(運動神経伝導速度)

- 読影レポートを希望される場合は、検査の内容によってお届け日が異なりますので、ご予約の際ご相談ください。
読影レポートができる検査とできない検査がございますので予約時にご相談ください。





フットケア外来のご案内



フットケア外来とは？

以下のような症状でお悩みの方は、
是非ご受診ください！



軽度

- ・足がしびれる
- ・感覚が鈍い
- ・足が冷たい、冷たく感じる
- ・足の色が悪い
- ・歩くと足が痛む(立ち止まると痛みはない)
- ・指に変形がある
- ・安静にいても足が痛む

重症

- ・傷が治らない、治りにくい

平成27年1月よりフットウェア外来を併設いたしました！～まずはフットケア外来をご受診ください～

- ・足に傷があるのでどういった靴を履いていいのかわからない
- ・治ったはずの傷がまたすぐにできてしまう
- ・足の手術後で自分に合う装具を探している



などの患者さまは是非、当院フットウェア外来をご受診ください。

※初診の場合、まずはフットケア外来をご受診ください！

フットウェア外来とは？

下肢の潰瘍や壊疽のある患者さまは、サイズの小さい靴や踵の擦れる靴、つま先が脆くぶつけると足先に傷が増えてしまう靴など、残念ながら多くの場合その方にあった靴を履いていません。また、歩行障害や神経障害があり下肢の変形を伴うこともよくありますが市販されている靴ではそのような変形した足には対応しておらず、傷のある部分を圧迫し続けていることが多いです。創部に圧力のかかったままでいると潰瘍や壊疽はどんどん進行してしまいます。せっかく血管内治療やバイパス手術を行って血流を改善しても誤った靴を履いていると患部は治りません。

フットウェア外来では、専属の義肢装具士が患者さまひとりひとりにあった靴を作成しています。例えば、重症虚血により母趾底に壊疽がある場合はその部分に圧力がかからないように除圧のインソールを作成し、圧迫により趾間に潰瘍を作らないように適切なサイズのシューズを選びます。正しい靴選びは創傷治癒の助けとなるだけでなく、新たな傷を防ぐ効果もあります。様々な事情により足趾や下腿を切断になった場合でも、その歩行能力を出来るだけ保つように義足や装具を作成します。変形した足の場合でも適切な靴や装具を作ることで足の状態は大きく改善します。

当院のフットウェア外来では、フットケア外来を担当する医師と協力し、同じ目線で靴・装具を作成することで、効率的に下肢の治療が行えるようになりました。ご希望の方は是非ご受診ください。

診療時間

木曜日・金曜日 14:00～17:00 (予約制)

問い合わせ先

D館1階 循環器内科外来 TEL.03-3967-1181(代表)